

であいこうか

DEAI 14 KOKA
地域で活躍されている元気な方を紹介するコーナーです。

交通安全啓発マスコットを作成
中島 正さん(甲賀町大原上田)



交通マナーの向上を願って

4月6日、三雲ドライブインで行われた春の交通安全運動の街頭啓発、ドライバーに可愛い花ポットが配られました。容器には「根づよい交通マナー 守ります」の文字が。この交通安全啓発マスコット、照明器具製造会社「NECライティング」にお勤めの中島正さんが、同僚と一緒に作られたものです。同社の物流部門に所属する中島さんは、5年前、同社を

訪れる運送会社のドライバーの交通安全を願い、マスコットを作成、配布を始めました。3年前からは、地域の交通マナーの向上のため、春と秋に行われる交通安全運動で一般のドライバーにも配布されています。その数は1回あたり800個に上ります。「800個作成するにはかなりの手間がかかりますが、毎年継続することに意義があると思います。そしてそれが私の生きがいでもあります。」と中島さん。交通マナーは「馴れ」による油断が怖いもの、マスコットのメッセージを見て、初心に帰ることは大切な



交通安全 確認しや(忍者)運動
ことですね。ちなみにこのマスコットはすべて手作り、今回の花ポットは中島さんが自宅で種をまいて育てたパンジーとマーガレットをカップに移したもので、飾りのハチや蝶も手作業、大変な労力です。「単なるマスコットで終わらないよう、必ずメッセージを添えています。マスコットと言葉を「掛ける」のがこだわりです。」と毎年心に残るフレーズを考えての啓発です。「ドライバーの皆さんに、交通安全の啓発として渡すもの、いい加減なものを渡すことはできません。」といいながら、すでに秋の交通安全に運動に向け構想は固まりつつあるようです。これからは中島さんのマスコットが交通安全を呼びかけることでしょう。



二世の桜をじっくり観察する中嶋市長

400年の息吹を皆さんに

「しだれ桜二世、市に寄贈」

4月9日、畑のしだれ桜の二世が市に届きました。このしだれ桜の二世は、本紙3月15日号で紹介しました「森林総合研究所林木育種センター」で接ぎ木により生まれたクローン桜のうちの1本です。この日は、鉢植えのかわいい桜が中嶋市長に贈られました。この二世さくらにはすでに小さなつぼみもついて、樹齢400年の息遣いが伝わってきます。多くの人に見てもらえるような立派な桜に育ってほしいものです。

さくら色いっぱいの里

～08咲くや鮎河さくらまつり～



市内のさくらのピークも過ぎようとする4月中旬、土山町鮎河のうぐい川沿のさくらは満開を迎えます。

4月12・13日、今年も「咲くや鮎河さくらまつり」が行われ県内外から多くの人々が訪れました。

この日は、さくらの並木のなかで、もちつきや大正琴が行われたほか、地元産のそばなどの販売もあり、地域全体がお花見会場として盛り上がりしました。

また、今年にはさくらを見ながら一句ひねるコーナーが登場、訪れた人は美しいさくらの句を短冊にしたためました。



10周年の喜びに ナイスショットが連続

～甲賀町グラウンドゴルフ協会 創立10周年記念大会～

甲賀町グラウンドゴルフ協会が創立10周年を迎え、3月22日に、記念大会が行われました。

会場となった甲賀健康の森には、会員約230名が集まり、10周年を迎えた喜びを分かち合いました。

当日は、10周年をお祝いするような晴天に恵まれ、ナイスショットの声があちこちから聞こえ、元気な声と笑顔がグラウンドいっぱいにあふれました。

また、ともにお祝いしようと中嶋市長も駆けつけました。市長は、開会式でのあいさつに続き、甲賀地域は、新名神高速道路の開通で三重県などとの広域連携や人、もの、情報が交わる中心地となることから、皆さんのまちづくりへの協力をお願いしました。

花が咲き誇る 季節が待ち遠しい

～宇川中小企業団地自治会が河川敷に植樹～



河川敷に植樹をする自治会の皆さん



食を通して人の輪も広がった商工祭

食べて、集まって、元気に

「おいしい信楽 商工祭」

食を通して地域の魅力を再発見しようと3月23日に、おいしい信楽 商工祭が開催されました。この催しは、おいしい信楽商工祭実行委員会と信楽町商工会の主催で行われたもので、当日は、朝宮茶や地酒、漬物、しいたけ、こんにゃく、味噌など、信楽のおいしいものが大集合しました。会場では、これらの販売や、試食会が行われたほか、子ども向けのイベントも行われ、一日中多くの方でにぎわいました。テント前では、「信楽でこんなものが作られているなんて知らなかった」と意外な発見に驚かれる方やこの日を待ちかねてお目当ての特産品を買われる方もあり、訪れた皆さんは地元特産品の良さを改めて実感していました。地産地消、安全でおいしいものが市内にあふれています。

野洲川の堤防を花で飾ろうと、このほど宇川中小企業団地自治会の皆さんが、県の許可を受け同団地付近の野洲川河川敷にサザンカ250本とカエデ20本を植樹されました。

今回の植樹は、同自治会の皆さんが企業の環境向上対策を進めながら地域のまちづくりにも参画しようと取り組まれたもので、当日は、同団地加盟の25社から約20名の方が参加されました。

今回の植樹事業は、企業と行政の協働への取り組みのひとつとなるものと市も期待を膨らませており、市からも苗木提供などの支援をしています。

同自治会は、昨年はグラウンドゴルフ場を整備、整備後は一般開放もされている他、地域でのイベントへの寄付など、企業として参加できるまちづくりを積極的に進められます。